

藤沢記者クラブ各位

デング熱の国内感染症例について

藤沢市内において海外渡航歴がないデング熱患者の発生がありましたので、お知らせします。

1 患者について

(1) 概要

- ・藤沢市在住 10代女性
- ・9月7日 39.4℃の発熱、体の痛み、悪寒あり。
- ・9月8日 医療機関受診。外来（通院）にて経過観察。
- ・9月11日 38℃台で解熱せず。発熱、倦怠感、腰痛を主訴に再診。
- ・9月12日 神奈川県衛生研究所の検査においてデングウイルスの感染を確認。
- ・現在自宅療養中

(2) 患者行動

- ・調査の結果、患者は8月30日に明治神宮に行って、蚊に刺されている。
- ・海外渡航歴なし。

2 藤沢市の対応について

- ・市民への注意喚起
- ・市内医療機関に対して、デング熱の国内感染が疑われる事例の情報提供を依頼済

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 保健医療部 保健所 保健予防課
担当： 須山、山田、阿南
内線： 7171
直通： (50) 3593

参考資料

【デング熱について】

1 概要

- ・デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症で、発熱、頭痛、筋肉痛や発疹などが主な症状です。
- ・ヒトからヒトに直接感染するような病気ではありません。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することでウイルスが感染します。また、感染しても発症しないことも多くみられます。
- ・熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア、南アジア、中南米で患者の報告が多く、その他、アフリカ、オーストラリア、南太平洋の島でも発生があります。最も日本に近い流行地は台湾です。

2 症状

- ・3～7日の潜伏期間の後に、発熱、発疹、頭痛、骨関節痛、嘔気・嘔吐などの症状がみられます。
- ・まれに重症化して、出血やショック症状がみられることがあります。

3 治療法

- ・デングウイルスに対する薬はありませんので、対症療法となります。

4 予防法

- ・デング熱に有効なワクチンはありません。

国内では、ヒトスジシマカがデング熱を媒介しますので、長袖、長ズボンの着用や虫除けスプレーなどの使用により蚊に刺されないようにすることが重要です。

ホームページ

厚生労働省 デング熱について

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html)

国立感染症研究所 デング熱とは

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/238-dengue-info.html>)